

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シモハナ物流(株)高槻第2ビル	階数	地上5F
建設地	大阪府高槻市西面北1丁目	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	220 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年2月15日
敷地面積	13,956 m ²	作成者	福光俊明
建築面積	7,215 m ²	確認日	
延床面積	24,950 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
必要部位に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮している。	0	
Q1 室内環境 喫煙室以外は全館禁煙とし、非喫煙者への室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースとして十分な空間の休憩所を計画している。	Q3 室外環境(敷地内) 地表面に緑化を設け、近隣のまちなみに配慮した。
LR1 エネルギー 効率の良い設備機器の採用により一次エネルギー消費量の削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 下層階盤に再生骨材を採用している。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪駐車スペースを設置、荷捌車両スペースの確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0160

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)シモハナ物流(株)高槻第2センター					
	建設地	大阪府高槻市西面北1丁目405-9 外					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
省エネルギー対策		② 省エネ対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.9	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.9	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.5			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない			
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0			
その他							
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項			
特に配慮した事項							